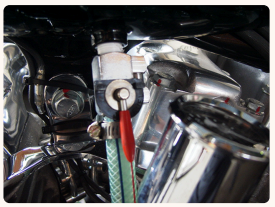
始動困難時の対処方法

基本：始動できないときは、そのままキックを続けず、速やかにIG SWをOFFにして最初からやり直し、少しでも掛かりやすい状態を作ってからキックしてください。この流れが、脚の体力を温存できる重要なルーティンです。

プラグ：何度か繰り返しても始動しない場合は、早めにプラグを外してブラシを掛ける、新品のスペアがあれば交換する、という対処が手早く効果的です。

季節：季節によって掛かりやすさは変わります。外気温が下がる冬場は燃料が夏ほど気化せず、冷え切ったエンジンは特に掛かりにくくなります。普段より意識して燃料を多めに送り、チョークやアイドルスクリューを調整しながら、シーズンごとに掛かりやすい位置やパターンを覚えて、少ないキックで始動できるようにしてください。

① IG SWはOFFのまま、ガソリンコックをONにする



写真はONの状態です。駐車時は必ずOFFに戻してください。

② アイドルスクリューまたはチョークレバーで、アイドリングを適度に上げておく

キャブの種類は？

S&S（Super E）・HSR・CV等

③ スロットルを2〜3回あおる（ガスを送る操作）

SUキャブ

③ ティクラーを5〜6回ゆっくりポンピング
④ 同時にピストンリフトピンも上下させる

Super Eは、燃料を送りすぎてプラグをかぶらせることが多いので注意してください。SUキャブは、燃料が足りずに始動できないことが多くあります（初心者の場合は、キック力不足も原因になります）。ティクラーで確実に送り、しっかり空キックをしてください。

⑤ キックを5〜6回踏み込み「空キック」をする

点火しやすい混合気がヘッド内に送り込まれます。SUキャブは負圧式のため、特にこの空キックが重要です。

⑥ ピストンの位置を上死点前へ持ってくる



キックを踏み込むと重くなり、やがて軽くなります。軽くなり始める直前が上死点前の位置です。過ぎてしまったら、もう一回転させて位置を出し直します。キックアームが時計の9〜10時を指す位置だと力が入りやすくなります。

⑦ IG SWをONにする



6時の位置まで踏み下ろすと、内部のキックギアがリリースされ、そこから先は空回りします。ボトムまでしっかり踏み込めば、ケッチンは来ません。

⑧ キックを6時の位置まで力強く踏み下ろす（一発でかからなければ、そのまま2〜3回程度まで）

始動した？

はい → **完了**

いいえ

⑨ IG SWをOFFにし、③のポンピングからやり直す（ポンピング → 空キック → キック）

始動ルーティンは、この流れの繰り返しです。

繰り返しても始動しない

2ページ目「始動できないとき」へ

© 2026 RODEO MANUFACTURING INC.　群馬県高崎市上並榎町454-1　http://www.rodeomotorcycle.com

始動困難時の対処方法

注意：ミクスチャーや点火時期は、むやみに調整しないでください。始動に苦労しているという車両を点検すると、基本調整がずれていることが多くあります。

1ページ目の③〜⑧を繰り返しても始動しない

↓

ポンピングと空キックからやり直したか？

いいえ → キックだけを続けてもかかりません。プラグがかぶっている可能性があります。
→「プラグの清掃・交換」へ

↓ はい

ガソリンは届いているか？

プラグを外して目視で確認してください。電極（ギャップ）が乾いていれば燃料はまだ足りていません。逆に送りすぎていると黒く濡れています。確認したらブラシ掛けも忘れずに。

いいえ → 燃料が1/3程度になるとホースやフィルターに空気が溜まり、ガソリンが落ちにくくなります。ホースを曲げる・振る・揉みほぐして空気を抜き、ガソリンを追加してください。
→ ①からやり直す

↓ はい

プラグの清掃（ブラシアップ）・新品プラグへ交換はしたか？



ワイヤーブラシでブラシ掛け

締めすぎに注意（締め付けトルク：12〜25Nm）。

※始動できないときは、まず新品プラグに交換して試してください。

いいえ → ワイヤーブラシでカーボンや汚れを落とすか、新品プラグに交換します。前後のプラグを抜いた状態で空キックを10〜20回し、ヘッド内の生ガスを抜きます（ガソリンコックはOFF）。何度もかぶったプラグは火が飛ばなくなるので、交換をためらわないよう新品を多めにストックしておきましょう。
→ ③からやり直す

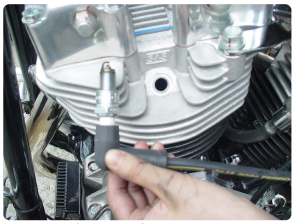
↓ はい

新品プラグでも火は飛んでいないか？

初爆が一度もないなら、目視で点火チェックをします。

□ 点火チェック（目視）をした
□ やり方が分からない → 下の手順で確認

- プラグを外し、コードを付けたままフィンなどに当てる
- IG SW ONでキックし、スパークを見る（前後順番に）
- 日陰で見る。「実は飛んでいた」も多い



点火の目視チェック

飛んでいない → 完全に火が飛んでいないと確認できたら、ここで初めてコイル・イグニッション・レギュレーターなど点火系の故障を疑います。

レッカーを手配
点火不良が確実な場合、交換部品がない限り、その場でできる対処はありません。レッカーサービスを呼んで、RODEOに入庫してください。

↓ 飛んでいる（点火系のトラブルは一度除外）

2次エアーを吸っていないか？

吸っている → インテークマニホールドの継ぎ目・取り付けの緩みや亀裂を確認し、インマニラバーを点検・交換してください。

↓ 吸っていない

点火・ガソリン・空気がそろっていて故障がなければ、始動できる条件はそろっています。①から手順どおりにやり直してください。

インマニの切れに備えて
インマニは、エンジン特有の振動で切れることがよくあります。スペアを携行し、自分で交換できるようになれば完璧です。RODEOの車両は追加ブラケットを増設してキャブを取り付けているので、従来のアーム単体より耐久性が上がっています。

始動しにくい状態が続く場合は、早めにRODEOへ入庫し、点検・再調整を受けてください。

© 2026 RODEO MANUFACTURING INC.　群馬県高崎市上並榎町454-1　http://www.rodeomotorcycle.com